

猛暑つづきであつた今年の八月。その八月から月がかわつて今日9月に入つた途端に、一度に秋がやつてまいりました。「大きな秋」ではなくて、どつと一度に「小さい秋」ではなく、背をまるめてセカセカと歩き去つて行かれました。そのお年よりお一人のおっしゃつたこと。

昨日まであんなにやかましいほど鳴いていた蝉が、ホレもうこんなに地面に落ちて死んでいます。死んだらおしまい。

わたしとておんなんじですワ。わしら、もう死なんさきから、蝉の脱け殻みたいなもんですがな。だれからも相手にしてはもらえません。

うちの若いもんなんか、私がそこにいることも全然無視してます。孫たちだって私をごみ扱いです。

いえ、私自身も、私自身にこのごろ愛想を尽かしています。物覚えはかいもくあきまへんし、第一ヨシこれをやってやろうなんていう氣力はもう沸いてきません。ただ、起きて、息をして、寝てまた起きて。ただそれだけ。蝉の脱け殻とおんなじです。

そのようにして、結果、どんなになるか知れないけれど、死ぬのでしょうかなー。死んだらおしまい。死なん先からもうお仕舞いですもんなー。

生死出離（しょうじ・しつり）の一道

猛暑つづきであつた今年の八月。その八月から月がかわつて今日9月に入つた途端に、一度に秋がやつてまいりました。「大きな秋」ではなくて、どつと一度に「小さい秋」ではなく、背をまるめてセカセカと歩き去つて行かれました。そのお年よりお一人のおっしゃつたこと。

昨日まであんなにやかましいほど鳴いていた蝉が、ホレもうこんなに地面に落ちて死んでいます。死んだらおしまい。

わたしとておんなんじですワ。わしら、もう死なんさきから、蝉の脱け殻みたいなもんですがな。だれからも相手にしてはもらえません。

うちの若いもんなんか、私がそこにいることを全然無視してます。孫たちだって私をごみ扱いです。

いえ、私自身も、私自身にこのごろ愛想を尽かしています。物覚えはかいもくあきまへんし、第一ヨシこれをやってやろうなんていう氣力はもう沸いてきません。ただ、起きて、息をして、寝てまた起きて。ただそれだけ。蝉の脱け殻とおんなじです。

そのようにして、結果、どんなになるか知れないけれど、死ぬのでしょうかなー。死んだらおしまい。死なん先からもうお仕舞いですもんなー。

そやけどなー。うえの方見てみなはれ。今朝の空には昨日とちがつて鶴雲、秋がドート来てますすやないか。それとその空に聳える楠ノ木・ドングリの木などなど。これら秋の間に全部木の葉を散らしますが、散らしたあとにはもう来年の若葉の芽を育てていますんや。

草木、自然の世界には「死ぬ」ということと「生きる」ということが、別々やなしにずっとヒト続きに続いておりますのやねー。わしらもああいういのちへ生きることと死ぬこととが別々ではないひとつものやという、大きな大きなおおらかなのちにありますんや。

と「生きる」ということが、別々やなしにずっとヒト続きに続いておりますのやねー。わしらもああいういのちへ生きることと死ぬこととが別々ではないひとつものやという、大きな大きなおおらかなのちにありますんや。

蓮如上人さまのおてがみに、ご自分の一生かえりみて「ただ夢のごとし、幻のごとし。いまにおいては生死出離の一一道ならでは、ねがうべきかたとては一つもなし、またふたつもなし」（こんなに年寄つた今となつては、死んだらお仕舞いなんていうのじやなしに、死ぬる生きるを越え出た、如来さまのおおきなおいのちに生まれ変わらせてもらうそのことしかないんだよ）。

そんなこと聞きました。

## 別修

### 敬老報恩講

誇り合ってお参りください。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

そやけどなー。うえの方見てみなはれ。今朝の空には昨日とちがつて鶴雲、秋がドート来てますすやないか。それとその空に聳える楠ノ木・ドングリの木などなど。これら秋の間に全部木の葉を散らしますが、散らしたあとにはもう来年の若葉の芽を育てていますんや。

草木、自然の世界には「死ぬ」ということと「生きる」ということが、別々やなしにずっとヒト続きに続いておりますのやねー。わしらもああいういのちへ生きることと死ぬこととが別々ではないひとつものやという、大きな大きなおおらかなのちにありますんや。

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつたのか、また狂信的な民族主義に起因があつたのか、いずれにせよ、その紛争のまぎぞえに遇つた何千もの無顧の人命やその周辺のお一人お一人の悲哀を思えば、「民主主義の敵」

いわめき声で、またぞろ互いの報復戦争に全

世界を巻き込もうとしていることにこそ「全人類的」な憤りを感じずにはおれません。私たちの国はかつて、いま横行のテロや民族主義と同じ行為で世界を戦争に巻き込みました。あれから百年もたたないのに、その悔恨を特に日本の指導者は忘れ去つたようです。

わが悔恨を踏まえない加担は、盲従追従ではありません。戦中戦後を生き抜いてこられた先輩から、このあたりの事情や心情を聞かせていただくことが一層大切な時代になりました。どうぞ誘い合わせてお参りください。

勝林寺仏婦会長 永井孝一郎  
勝林寺仏婦会長 岩上加代子  
【一部】開会 五時半  
①仏社會長開会の挨拶  
②おつとめ（「正信偈」草譜）  
③ご法話  
④仏婦會長歓迎の挨拶  
⑤おとき  
⑥門徒総代あいさつ  
⑦懇親演芸会  
（閉会 九時予定）

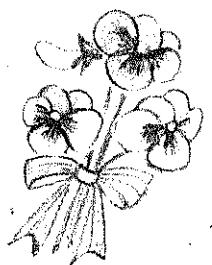
送迎バスを差し向けて。ご利用ください。  
栗雄4、00→ 正法寺4、05→ 小谷  
4、10↓ 出合4、15↓ 市場4、20  
↓ 矢根4、25  
和屋4、50→ 榎見5、00→ 坪口5時  
05。 上小田4、30

☆6申し込みは地区仏婦評議員さまを通じて。

さしてひどい台風も来ず、久方ぶりに平和な穏の秋が迎えられそうでありましたのに。突如あの過激な連続テロ事件！

驚愕・憤怒。世界中しゆうしょ狼狽でした。もともと大国の国益優先がその原因であつた

## 親の愛



今では遠い遠い思いでではあります、秋のお彼岸時分になりますと、今でもあの辛さがこの胸のうちに蘇ってまいります。

二十六年前、9月18日の夕刻、三歳の男の子が死んでしまったのです。ちょうどした交通事故でしたのに、事故にあつたその日の内に死んでしまったのです。母親の不注意であつただけに、その子を殺した衝撃からは何年も何年も立ち上がることはできませんでした。とりかえしのつかないことは言いながら、せめては死んだあの子の供養をしたいと、そのことにもうひとすじに狂った事もありました。

しかし、その結果知らされたこと。

「愛は強し」というけれど、「愛はかなし」

これは最近、高校時代の恩師に聞いたことです、親鸞さまというかたは

「今生に、いかにいとおし不憫とおもうとも、思いどおり願いどおりに、助けがたければ、この慈悲は所詮はかないものだ」「この慈悲始終なし」とおっしゃっているとか。

わたしが二十五年苦しんでその結果分かったことは「この慈悲始終なし」。いかに親の愛といえども、この慈悲始終なし」

恩師が言われるのです。

「わしもようわからんけど、親鸞さまというかたは、だから、かくなるうえは、わたし自身がお念佛申して、お淨土というか如来さまのおいのちの中に生まれ変わらせて貰つて、そこで、先へいったあの子と親のかわらぬ

出会いをさせていただく。それが真実永遠な慈悲ではないのか」とこんなふうにおしえてくださっているのだけれど………。

先生はそう言いながら、南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏とお念佛を唱えておられました。

わたしのために唱えてくださったのでしょうか。そうではなくて、ご自身に言い聞かせるようなおねんぶつでありました。ありがとうございました。



## 海の魚はかわいそう

仏教會員

海の魚はかわいそう  
お米は人につくられる／牛は牧場(まきば)で飼われる／鯉もお池で鶴を貢う

けけれども海のお魚は／なんにもお世話にならないし／いたずら一つしないのに／こうして私に食べられる  
ほんとに魚はかわいそう。

21世紀は「ここるの時代」「いのちの時代」というキャンペーンがやかましいほど聞こえできます。聞こえて来れば来るほど、へそほんとかな」と疑わしくなります。

近ごろの若い者は、このように素直ではないのだ、と言われますが、そうではあります。なぜかといって、ご覧なさい、人のところをコントロールして、人の命を一番粗末にした時代の、あの戦争を戦った時代の人

がさけんでいるのですから。忠義のためには「いのち」を鳥の毛のようになんか思ひません。なぜかといつて、ご覧なさい、人の命を一番粗末にした時代の、あの戦争を戦った時代の人

がさけんでいるのですから。忠義のためには「いのち」を鳥の毛のようになんか思ひません。なぜかといつて、ご覧なさい、人の命を一番粗末にした時代の、あの戦争を戦った時代の人

がさけんでいるのですから。忠義のためには「いのち」を鳥の毛のようになんか思ひません。なぜかといつて、ご覧なさい、人の命を一番粗末にした時代の、あの戦争を戦った時代の人

がさけんでいるのですから。

その教育宣伝に乗せられて、いくさで死んだ軍人を英靈と褒め上げて、しかも『戦陣訓』など戦争教育を推し進めた元凶A級戦犯と一緒にお祭りします。そしてそれだけではなくて、二十一世紀の政治を担う責任者が「国民を代表して」そこにお参りしているのですよ。

そちら側の人たちがいくら声高に「ここる

・いのち」の貴さをいいたてても、これでは世紀のナンセンス。時代の大まやかしさとしかわからない私たちには聞こえません。

また、いまの大人たちが言う「いのち」とは「心」とは、どうも自分の心、私の命をいつているように思えます。

「わたしのいのちを尊重してください」とさけんでいるばかりで、これでは対立や喧嘩が増えるばかりではありませんか。

では、「ここる・いのち」を大切にするとは、いったいどうすることか。そのことに悩んでいたとき、この金子みす

ずの童謡にありました。

「慈光は笑みて  
数珠も背なき  
いとけなき



「お魚」

お米は人につくられる／牛は牧場(まきば)で飼われる／鯉もお池で鶴を貢う

けけれども海のお魚は／なんにもお世話にならないし／いたずら一つしないのに／こうして私に食べられる  
ほんとに魚はかわいそう。

目に見えないところで、人から顧みられないでひそり生きているお魚。ときには人に食べられてしまうお魚。そんなお魚への暖かいまなざし。

わたしひとりの貴さを面々に主張してはみんなが和みあう社会にはなりません。目に見えないけれど、とるに足りない命かもしれないけれど、それでも懸命にいきている命に、この上なく優しいまなざしが向かわれるようになつたら、どんなにいいだろう

なーとわたしは教えられました。「悪人が先ずすぐわれなれば」といつた親鸞と言う人の深い暖かい教えをあらためて考え直しました。

お魚はかわいそう  
お米は人につくられる／牛は牧場(まきば)で飼われる／鯉もお池で鶴を貢う